



これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただくことができます

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

## 「絆づくり」「居場所づくり」で楽しくあたたかい集団づくり

突然ですが、何のために子供は学校に通うのでしょうか。

学習するだけでしたら一人でもできます。昨今はオンライン学習も珍しくはありません。「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が2016年に成立、2017年に施行され、一人でも学習できる環境がより一層整備されてきています。

ただし、いろいろな考えを持った他者と交流できれば、自分の世界が広がり、より一層豊かな人生を送ることができると思います。私は、そのために、学校に通うものと考えております。

学校では、学級集団が他人との交流の場となります。この学級集団が基盤となり、さまざまな学習活動に安心して取り組むことで、子供の可能性を広げていくことが可能になります。



今年度、尾花沢市教育委員会では、特別活動を要とした「絆づくり」

「居場所づくり」を推進し、よりよい学級集団づくりの充実を図っていきます。

特別活動とは、①学級活動、②児童会・生徒会活動、③クラブ活動（小学校のみ）、④学校行事を通して、次の目標を目指すものです。※学習指導要領の記載を平易な表現にしています。

- 自分とは異なる友達と協働するよさを理解し、よりよい行動の仕方を身に着けます。
- 集団や自己の生活、人間関係の課題を解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりできるようにします。
- 集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成します。また、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養います。

また、「絆づくり」とは、主体的に取り組む協働的な活動を通して、児童生徒自らが「絆」を感じ取り紡いでいくこと「居場所づくり」とは、児童生徒が安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場所を、教職員がつくり出すことです。※主語が異なります。



これまでも、児童生徒が主体となって行事を企画、運営することにより「自己決定」の場が設定され、「自己存在感」を感受させる取組、縦割班などで上級生が下級生を思いやり、下級生が上級生にあこがれを持つなどの「共感的人間関係」を育成する取組、そして、友達への感謝

のメッセージを交換するなど「安全・安心な風土」を醸成する取組は行われてきました。今後は、各校で「絆づくり」「居場所づくり」のより一層充実、推進を図っていきます。そして、学習や生活の基盤となる集団づくり、児童生徒が登校したくなるような楽しくあたたかい集団づくりを目指します。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課  
教育指導室長 工藤 雅史  
TEL 23-3330